

PARNASSIUS

No. 39

目 次

蝶ふたたび.....	交 告 尚 史 (1)
淡路島のオサムシ類.....	大 草 伸 治 (4)
コムラサキ梢上を滑翔.....	谷 川 大 海 (7)
洲本市池内にてクロコノマチョウを採集...	谷 川 大 海 (8)
イッシキガガンボモドキの採集記録.....	登 日 邦 明 (9)
津名町大町でコムラサキの前翅を拾う.....	登 日 邦 明 (9)
洲本市安乎町でコムラサキを採集.....	堀 田 久 (10)
淡路町でイシガケチョウを目撃.....	堀 田 久 (10)
ヒラズゲンセイ他数種の採集報告.....	前 川 和 昭 (11)
成ヶ島のアカスジカメムシ.....	登 日 邦 明 (11)

淡 路 昆 虫 研 究 会

ENTOMOLOGICAL ASSOCIATION OF AWAJI

HYOGO JAPAN

September 1993

2112

蝶ふたたび

交告尚史⁽¹⁾

「子供ができてから」と私は言った。「自分の子供の頃のいろいろな趣味がまたよみがえってきてねえ。それどころか一年ほど前からまた蝶のコレクションをはじめたんだよ。お目にかけようか？」

(ヘルマン・ヘッセ「クジャクヤママユ」, 岩波同時代ライブラリー 105, ヘッセ『蝶』, 30 頁)

小学生の頃、岐阜県の片田舎で虫を追いかけて暮らしておりました。最近ふとしたことであのころの熱情がよみがえり、20 年ぶりに捕虫網を握りました。妻の郷里である当地を訪れては、蝶の採集を楽しんでおります。先日柳学園に学生時代の友人を尋ねた際、首尾よく登日先生にお目にかかることができ、その場で本会に入会させて頂きました。この(1993 年)1 月から住み慣れた神戸を離れ横浜に移ることになりましたので、これまでほど足繁く訪れることはできませんが、少しずつ採集域を拡げて淡路島の蝶相解明のために微力を尽くしたいと思います。

以下にこの2 年間の私の採集品を全種掲げます。まだ初心者ですので雌雄の判定は、図鑑等に示された基準に照らしてほぼ確実と思われるものに限りしました。

このリストの中で特記するに値するものといえば、やはりイシガケチョウでしょうか。この蝶が淡路島に居ることは堀田先生にうかがって知っておりましたが、実物を見たことはありませんでしたので、猪ノ鼻水源地にさしかかり、路傍の低木に止まった白っぽい蝶がイシガケチョウであることを確認したときは、本当に胸の高鳴りを覚えました。その後9 月10 日(1992 年)にも、石ヶ谷し尿処理場付近でイシガケチョウらしきものを一頭目撃しました。イシガケチョウかどうか確かめるべく顔を近づけたときに飛び立たれ、あわてて捕虫網を振りしたのでチョウを捕り逃がしたばかりか、眼底に焦点の当たった像を結ぶことすらできませんでした。ですから、これをイシガケチョウの目撃例として報告することはためらいがあります。

石ヶ谷し尿処理場あたりから北西方向に数百メートル入った厚浜の山中は、私の最も好きな採集場所です。ここで私はクロコノマチョウに出会いました。まだ2 年間の経験しかありませんので確かなことは申し上げられませんが、ここには定着している可能性が高いと思っております。なお、クロコノマチョウと言えば、竹原貯水池付近の山の入口でも、夏型の翅がボロボロになったものを一頭捕りました。ほかにも何頭か居たように思います。

それから、厚浜山中でコツバメを採集したことも、お伝えしておくべきことかもしれません。というのは、淡路自然研究保護連合会編の『島の生き物たち』には、コツバメの生息地として、先山、三熊山、五色町ぐらいしか挙げられていないからです。私の採集したものは、なにしろ5 月の個体ですから、かなり翅が痛んでおります。この場所にコツバメがどのくらい生息しているのか、もっと調べてみたいのですが、春先は仕事が忙しく、こちらへ来られないのが残念です。

(1993 年3 月4 日 記)

⁽¹⁾〒225 横浜市緑区黒須田 32-12 あざみ野 405

採集品目録

[アゲハチョウ科]

ナミアゲハ	2	2.	V.	1992	洲本	宇山
アオスジアゲハ	1♂	3.	V.	1992	洲本	宇山
	1♀	1.	IX.	1991	三熊山	大浜海岸側登山口
ジャコウアゲハ	1♂表	1.	V.	1992	洲本	宇山
	1♂裏赤紋	1.	V.	1992	洲本	宇山
	1♂裏黄紋	3.	V.	1992	洲本	宇山
	1♀	3.	V.	1992	洲本	宇山
クロアゲハ	1♂	1.	V.	1992	洲本	宇山
モンキアゲハ	1♂	1.	V.	1992	洲本	宇山
	1♂	6.	VI.	1992	洲本	石ヶ谷
ナガサキアゲハ	1♂	23.	VIII.	1992	洲本	宇山

[シロチョウ科]

モンシロチョウ	1♂	10.	IX.	1992	洲本	宇山
	1♂	11.	IX.	1992	洲本	竹原
	1♀	22.	IX.	1992	洲本	宇山
	1♀	9.	VIII.	1992	洲本	宇山
スジグロシロチョウ	1♂	6.	VI.	1992	洲本	宇山
	1♂	6.	VIII.	1992	洲本	宇山
	1♀	22.	VIII.	1992	洲本	竹原
キチョウ	1♂	13.	VII.	1991	洲本	宇山
	1♀	22.	IX.	1991	洲本	宇山
	1♀	6.	IX.	1992	洲本	石ヶ谷
ツマグロキチョウ	1	20.	X.	1991	洲本	宇山
ツマキチョウ	1♂	2.	V.	1992	洲本	宇山
	1♀	2.	V.	1992	洲本	宇山

[タテハチョウ科]

ミドリヒョウモン	1♂	11.	IX.	1992	柏原山	
ツマグロヒョウモン	1♂	20.	X.	1991	洲本	宇山
	1♂	3.	V.	1992	洲本	宇山
	1♀	7.	VIII.	1992	三熊山	
	1♀	11.	IX.	1992	柏原山	
コミスジ	1♂	2.	V.	1992	洲本	宇山
	1♀	13.	VII.	1991	洲本	宇山
キタテハ	1♂	13.	VII.	1991	洲本	宇山
	2♀	20.	X.	1991	洲本	宇山
ルリタテハ	2	20.	X.	1991	洲本	厚浜
ヒメアカタテハ	1	2.	V.	1992	洲本	宇山
	1	14.	IX.	1992	洲本	宇山
	1	14.	IX.	1992	洲本	石ヶ谷
アカタテハ	1	20.	X.	1991	洲本	厚浜
イシガケチョウ	1	23.	VIII.	1992	猪ノ鼻	水源地
ゴマダラチョウ	1♂	6.	VIII.	1992	洲本	宇山

[ジャノメチョウ科]

ヒメジャノメ	1♀	22.	IX.	1991	洲本 宇山
	1♀	6.	VI.	1992	洲本 宇山
コジャノメ	1♂	2.	V.	1992	洲本 石ヶ谷
ヒメウラナミジャノメ	1	14.	XI.	1992	洲本 厚浜
ヒカゲチョウ	1♂	1.	IX.	1992	洲本 厚浜
	1♂	6.	VI.	1992	洲本 石ヶ谷
サトキマダラヒカゲ	1♂	1.	V.	1992	洲本 宇山
	1♂	6.	VIII.	1992	洲本 宇山
	1♀	1.	V.	1992	洲本 宇山
ジャノメチョウ	1♀	3.	VIII.	1991	洲本 宇山
クロコノマチョウ	1	22.	VIII.	1992	竹原貯水池付近
	1	14.	XI.	1992	洲本 厚浜
	1	15.	XI.	1992	洲本 厚浜
	1	20.	X.	1991	洲本 厚浜

[マダラチョウ科]

アサギマダラ	1♂	20.	X.	1991	洲本 厚浜
--------	----	-----	----	------	-------

[テングチョウ科]

テングチョウ	1	14.	VII.	1991	洲本 宇山
	1	6.	VI.	1992	洲本 石ヶ谷
	1	23.	VIII.	1992	猪鼻水源池

[ウラギンシジミチョウ科]

ウラギンシジミ	1♂	22.	IX.	1991	洲本 宇山
	1♂	14.	XI.	1992	洲本 厚浜
	1♀	3.	VIII.	1991	洲本 宇山
	2♀	14.	XI.	1992	洲本 厚浜
	1♀	15.	XI.	1992	洲本 宇山

[シジミチョウ科]

ムラサキシジミ	1♂	20.	X.	1991	洲本 厚浜
	1♂	14.	XI.	1992	洲本 厚浜
	1♀	3.	VIII.	1991	洲本 宇山
アカシジミ	1	6.	VI.	1992	洲本 宇山
ミズイロオナガシジミ	2	6.	VI.	1992	洲本 石ヶ谷
コツバメ	1	2.	V.	1992	洲本 厚浜
ウラナミシジミ	1♂	17.	X.	1992	洲本 石ヶ谷
	2♀	1.	IX.	1991	三熊山駐車場付近
	1♀	10.	IX.	1992	洲本 宇山
ツバメシジミ	1♀	22.	IX.	1991	洲本 宇山
	1♀	7.	VIII.	1992	三熊山駐車場付近
	1♀	10.	IX.	1992	洲本 宇山
ルリシジミ	1♂	22.	IX.	1991	洲本 宇山
	1♂	6.	VI.	1992	洲本 宇山
	1♀	11.	IX.	1992	柏原山林道
	1♀	22.	IX.	1991	洲本 宇山
ヤマトシジミ	1	9.	VIII.	1992	洲本 宇山
	1	6.	VI.	1992	洲本 石ヶ谷
ベニシジミ	1	1.	IX.	1991	三熊山駐車場付近
	1	7.	VIII.	1992	洲本 宇山
	1	14.	XI.	1992	洲本 石ヶ谷

[セセリチョウ科]

アオバセセリ	1	7.	VIII.	1992	三熊山ウバメガシ園
ホソバセセリ	1	13.	VII.	1991	洲本 宇山
キマダラセセリ	1	10.	IX.	1992	洲本 宇山
コチャバネセセリ	1	3.	V.	1992	洲本 宇山
イチモンジセセリ	1	6.	VI.	1992	洲本 宇山
	1	7.	VIII.	1992	洲本 厚浜
チャバネセセリ	1	17.	X.	1992	洲本 宇山
	1	14.	XI.	1992	洲本 厚浜

(こうけつ ひさし)

淡路島のオサムシ類

大 草 伸 治¹⁾

従来淡路島からは、オサムシ類はエゾカタピロオサムシ (*Campalita chinensis* (Kirby)), ヤコンオサムシ *Carabus yaconius yaconius* Bates, オオオサムシ *C. insulicola insulicola* Chaudoir, ヒメオサムシ *C. japonicus japonicus* Motschulsky の4種とマイマイカブリ *Damaster blaptoides blaptoides* Kollar が知られていました。筆者は1991年、92年に続き本年もクロカタピロオサムシを採集することができ、また1993年にはアキタクロナガオサムシを採集できたのでここに報告します。なお標本は自然環境研究所²⁾に保管しています。

1) クロカタピロオサムシ *Calosoma marimowiczi* (Morawitz)

津名郡淡路町茶間川	1♂	1991. 7. 23	S. Ohkusa leg.
	1♂1♀	1992. 5. 12	S. Ohkusa leg.
	2♀	1993. 5. 12	S. Ohkusa leg.
津名郡北淡町生田大坪	1♂1♀	1993. 5. 16	S. Ohkusa leg.

なお高橋寿郎氏によれば、本種は兵庫県下でも採集例が少ない希少種であるとのこと。以下に高橋氏より御教示いただいたデータを記録します。

相生市三濃山	1♂	1974. 5. 18	H. Takahashi leg.
佐用郡佐用町大撫山	1♀	1976. 3. 13	H. Takahashi leg.
神戸市兵庫区烏原	1♂	1980. 5. 12	H. Takahashi leg.

また、能勢の甲虫⁵⁾にも川辺郡猪名川町三草山、木間生、横地、笹部での採集例が記録され、日浦勇¹⁾には養父郡関宮町鉢伏高原から記録されています。

以上、県下からの記録は今回も含めて8ヶ所になりました。本種を含めたカタピロオサムシ類は他のオサムシ類と異なり樹上性の甲虫です。したがって、ベイト・トラップなどには入りにくく、エゾカタピロオサムシの採集例⁴⁾にもあるように夜間灯火に飛来したり、初夏の頃に大量のシャクガ類の幼虫などが発生したときなどに地上で目につきやすくなるようです。今回の淡路町の例では短時間に十数個体が見られ、簡単に採集することができ

¹⁾〒495 愛知県尾西市明地字丸川 41-10

²⁾〒656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑 235

ましたが、6月に入ると地上ではまったく見られなくなりました。産地では時期さえ間違えなければ採集は難しいものではないと思います。

2) アキタクロナガオサムシ *Apotomopterus porrecticollis* (Bates)

津名郡北淡町常隆寺山 1♀ 1993. 5. 13 S.Ohkusa leg.

前記能勢の甲虫には、オサムシ類ではオサホリに最も良くみられると記され、川西市黒川、横地、笹部、東畔野、猪名川町杉生新田、内馬場、上阿古谷の7地区が記録されています。クロカタビロオサムシの調査中に偶然見つけたもので、周辺を探して見ましたが、ほかには見られませんでした。

3) ヒメオサムシ *C. japonicus* Motschulsky

洲本市先山 1♂1♀ 1976. 12. 17 M.Kaneda leg.

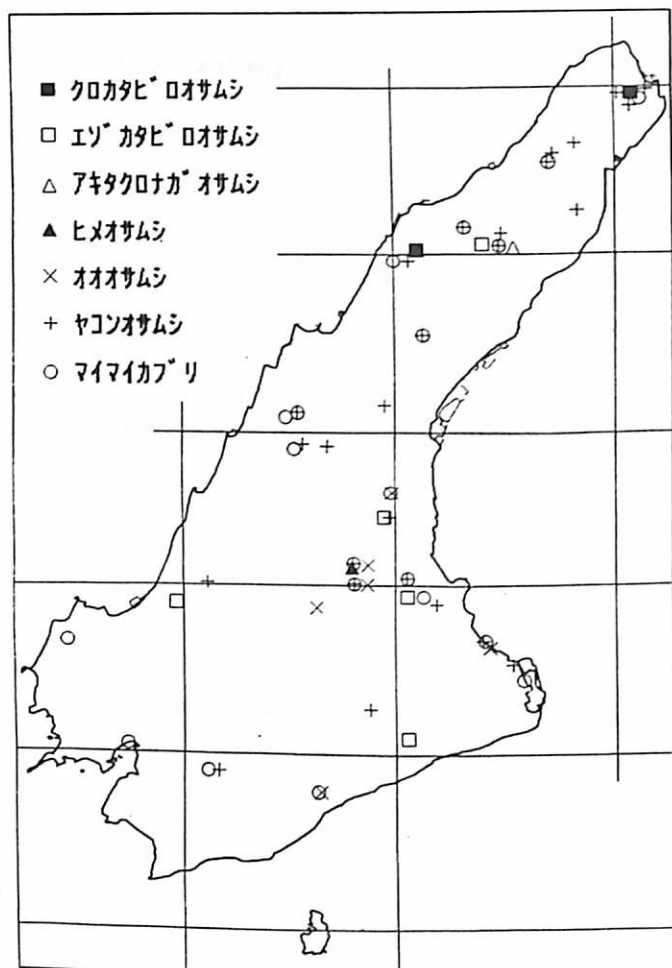
本種は現在のところ、筆者は採集していませんが、自然環境研究所の標本に未発表のものがあるので記録しておきます。従来淡路島の産地としては洲本市先山が知られているのみです。しかしながら記録としてはヒメオサムシ *C. j. japonicus* とアキオサムシ *C. j. chugokuensis* の二つの亜種が記録されています。高橋氏の報文³でもこのどちらの亜種であるかは特定されていません。局地的な分布の理由と共に本種の研究が必要であると思われま

す。クロカタビロオサムシは周辺地域を注意して捜してみた結果、淡路町茶間川のほかに北淡町でも新産地が発見された。注意深く探せばまだ新しい産地が見つかるものと思われ、また現在の所調査を行っていない南部地域にも分布する可能性も考えられる。ヒメオサムシが先山のどの範囲で採集されているか確認はしていないが、一度調査してみたい。

以下に附した淡路島産のオサムシ類7種の分布図を見ると、クロカタビロオサムシやアキタクロナガオサムシなどの新しい種が島の北部地域より見いだされていることから考えて、北部地域での採集が南部地域に比べて遅れているように見え、オオオサムシが南部地域に片寄っているのもその可能性が大きい。また西淡町周辺の空白部も目につく。

オサムシ類は各地で良く調査されている甲虫ですが、意外に淡路島での研究は進んでいないようである。普通種といわれるものを含め、淡路島の分布図を早く完成させたいと思います。

末筆ながら種々御教示いただいた登日邦明氏、貴重なデータを提供された高橋寿郎氏に厚く御礼申し上げます。



淡路のオサムシ類の分布図



アキタクロナガオサムシ (左) と

クロカタビロオサムシ (右)

参考文献

- [1] 日浦 勇 1971 近畿地方におけるオサムシの地理的分布 (予報) 大阪自然科学博物館報告 (25)
- [2] 堀田 久 1976 先山の昆虫相 (I) PARNASSIUS (16)
- [3] 高橋寿郎 1979 淡路島のヒメオサムシ PARNASSIUS (20)
- [4] 登日邦明 1979 エゾカタビロオサムシの採集例 PARNASSIUS (21)
- [5] 仲田元亮 1982 能勢の昆虫 甲虫の部 (上)

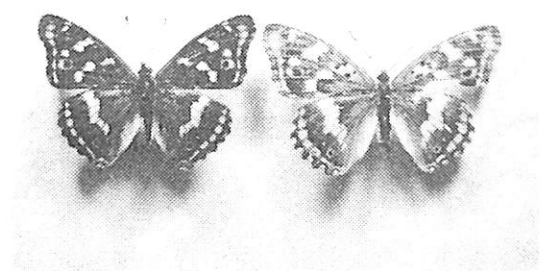
(おおくさ しんじ)

コムラサキ梢上を滑翔

谷川大海ⁱ⁾

1993年6月6日、午後3時頃、洲本市池内の通称、白土山の池のほとりのコナラの葉上で、コムラサキが飛翔しているのを目撃する。30分後ネットを持って再び訪れて（めす）を1頭採集する。二日後午前11時頃、コムラサキが数頭飛翔しているところ、（おす）1頭採集する。紫の輝きの美しい、あまり痛んでいない個体だった。この2頭を採集したところは、池のほとりで、これらの池の周囲には幅の狭い葉の柳の木が数本、他にクヌギ、コナラなどの木々が生えておりそれらの木々の樹液にコムラサキ、ヒオドシチョウ、ヒカゲチョウ、アカタテハ、ルリタテハなどの蝶がきているのを数週間に渡って観察した。

又ここから、ほど遠くないところに、かなり広い林があり、この林には幅の広い葉の柳がかなりの数生えていて、これらの柳の梢上にもコムラサキが数十頭飛翔しているのを観察した。（残念ながらこの柳の同定はできず）。しかし、コムラサキの（おす）のテリトリー飛翔や、たぶん（めす）を求めて柳の木の葉上をかすめて飛翔するのを観察したが、（めす）が産卵行動している姿はまだ残念ながら目撃していない。したがってどの柳の木が食樹なのかもまだ特定できていない。しかしこの1ヶ月の観察からたぶんこれらのコムラサキは、この林の中で生息しているのであり、他から飛んできたのではないようである。まもなく第二化目も現れると思われるので、観察を続けようと思う。



コムラサキ

左が♂、1993年6月8日採集。右が♀、1993年6月6日採集。洲本市池内（通称白土山）



コナラで樹液を吸っているコムラサキ。

左が♀、右が♂。両方ともかなり傷んでいる。1993年6月22日午前11時頃。

（たにがわ だいかい）

ⁱ⁾ 〒656 洲本市大野 1018-2

洲本市池内にてクロコノマチヨウを採集

谷川 大海

筆者は1980年9月28日、洲本市の柏原山のお寺でクロコノマチヨウの♀1頭を採集したことがあった。薄暗い境内の少し横で、地上に止まったところを易々とネットできた。秋型で表面前羽の先が褐色で黒い斑紋があった。

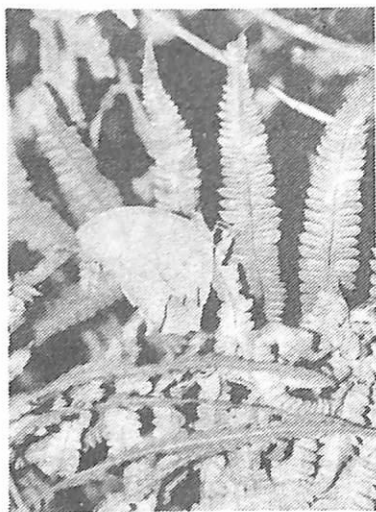
1993年7月13日、午前11時頃、洲本市池内の白土山の柳やハンノキの生えている林床で13年ぶりにクロコノマチヨウを採集することができた。状況はこの度もよく似ていて、薄暗い林床の下草に止まったところをネットできた。夏型の♂で、黒っぽい。二日後の15日、♀も採集できる。この林床は以前から観察に来ていたので、これらの雌雄は羽化して間もない個体だと思う。食草はここではススキのようである。この後観察を続けた結果、これらの他に♂2頭、♀1頭を確認している。卵を得て秋

型を飼育できればと考えている。



クロコノマチヨウ 左♂、右♀

♂は1993年7月13日、♀は1993年7月15日に洲本市池内の通称白土山にてそれぞれ採集。



クロコノマチヨウ♂

1993年7月16日 白土山にて撮影。



クロコノマチヨウ♀

1993年7月21日 白土山にて撮影。

(たにがわ だいかい)

イッシキガガンボモドキの採集記録

登 日 邦 明¹⁾

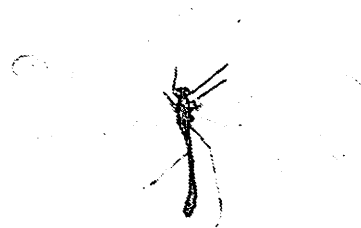
シリアゲムシ目の昆虫は原始的な形態を残した昆虫の仲間で、日本からは 2 科 4 属 40 種余りが知られている。

このうち、これまで淡路島からはシリアゲムシ科のヤマトシリアゲのみが知られていたが、ガガンボモドキ科のイッシキガガンボモドキが分布することが判明したので記録しておきたい。

Mt. Ryuhoujisan.	1 ♀.	24. VI. 1992	S. Ohkusa leg.
Tsuna Omachi Hata.	1 ♀.	21. VII. 1993	K. Tobi leg.

五色町の龍宝寺山系で大草氏が採集した個体は昼間薄暗い林の中を飛翔していたもので、津名町大町畑で筆者が採集した個体は夜間に燈火に飛来したものである。

尚、先に大草氏が採集した標本は筑紫女学園短期大学の宮本正一氏に同定していただいた。標本は自然環境研究所 (NSI) に保管されている。



五色町産イッシキガガンボモドキ

(とび くにあき)

津名町大町でコムラサキの前翅を拾う

登 日 邦 明

近年、洲本市宇原 (菊池, 1991, 本誌 37) や洲本市安乎 (堀田, 1992, 本誌 38) などからコムラサキの採集や目撃の記録が相次いでいるが、筆者は本年 (1993) 6 月 21 日に津名町大町畑の自宅の裏山で、本種の雄の左前翅を拾ったので記録しておきたい。

記憶を辿ってみると、20 年余り以前にやはり自宅近くの墓地の樹冠できらりと光る本種の雄の構造色らしき輝きを目撃したことがあるのだが、一瞬の出来事で当時は確認には至らなかった。

(とび くにあき)

¹⁾ 〒 656 21 津名郡津名町大町畑 235

洲本市安乎町でコムラサキを採集

堀田 久¹⁾

筆者は本誌の前号で、コムラサキ *Apatura metis substituta* を目撃したことを報告したが、下記のように目撃地点の近くで本種を採集したので報告しておきたい。これは、ため池の岸に自生するヤナギと、その近くの小灌木のまわりを飛び、時々葉上で羽を休めていたもので、新鮮な個体であった。なお、標本は筆者が保管している。

採集日 1993 年 6 月 7 日 1♀

採集地 洲本市安乎町北谷



(ほりた ひさし)

淡路町でイシガケチョウを目撃

堀田 久

淡路島ではイシガケチョウ *Cyrestis thyodamas mabella* が、次第に分布範囲を拡大しており、個体数もかなり多くなっているが、津名郡内での記録は少なく、淡路町からはまだ記録されていないようである。

筆者は、1992 年 9 月 30 日、淡路町岩屋の茶間川に掛かる落合橋の付近で、川沿いに飛ぶ本種の 1 個体を目撃した。50m あまり追跡したものの、網がとどかず採集は出来なかったが、淡路島の北端での分布を確認したのでここに報告しておきたい。

(ほりた ひさし)

¹⁾〒656 洲本市安乎北谷 630

ヒラズゲンセイ他数種の採集報告

前川和昭¹⁾

- ヒラズゲンセイ *Cissites cephalotes* (Olivier)
洲本市安乎町浜 1♂ 11. VI. 1990
自宅の軒先のクマバチの巣穴の下の地上で発見する。
 - キイロトラカミキリ *Demonax notabilis* (Pascoe)
洲本市先山 1♂1♀ 3. VII. 1993
先山頂上付近の割り木に産卵に集まっている多数の個体を目撃。
 - セダカコブヤハスカミキリ *Parechthistatus gibber gibber* (Bates)
諭鶴羽山 1ex., 19. VI. 1990
 - ナチキシタドクガ *Hema nachiensis* (Marumo)
一宮町多賀 1ex., 2. VIII. 1989
 - ウスタビガ *Rhodinia fugax fugax* (Batler)
洲本市安乎町浜 1♀ 26. XI. 1991
 - ニッコウナミシャク *Amocbotricha grataria* (Leech)
洲本市安乎町浜 1ex., 13. XI. 1991
- 尚、標本は筆者が保管している。

(まえがわ かずあき)

成ヶ島のアカスジカメムシ

登日邦明

アカスジカメムシ *Graphosoma rubrolineatum* (Westwood) は、淡路島ではこれまで洲本市安乎や西淡町伊加利などから発見されているが、筆者は1991年7月21日に洲本市由良の沖合いにある成ヶ島を訪れた際、数100mに及ぶ砂浜に点々と自生するノラニンジン *Daucus carota* L. (セリ科) の花や種子に、極めて多数の本種が群がっているのを目撃した。多いものでは1株に5~6個体がみられ、このときほど多数の個体(おそらく総数は数100頭)を目にしたのは初めてであるので記録しておきたい。尚、このうち2頭を採集し、標本はNSIに保管されている。

Is. Narugashima, 2ex., 21. VII. 1991 K. Tobi leg.

(とび くにあき)

¹⁾ 〒656 21 洲本市安乎町平安浦 1953

編集 後記

- ☆ 今回から **PARNASSIUS** も **L^AT_EX** によるパソコン印刷システムになりました。パソコンによる印刷出力をそのまま写植の版下として使用します。写植機よりプリンターの解像度が低い分あらが目立つとは思いますが、版下作成までが簡略化され、パソコンのみで行えるのは大きな合理化であると思います。

ところで投稿される原稿の大半はワープロで出力されたものです。一度ワープロに入れた原稿を再度編集でキーボードを叩くのは大変なので、できればフロッピーでの入稿をお願いいたします。編集の方でコンバーターを用意しますので、機種のご指定は如何にかかわらずそのままお送りください。もし必要であれば連絡用フロッピーを用意しますので、請求してください。

- ☆ 自然環境研究所 (NSI) では淡路島の生物に関してデータ・ベースを構築しています。今のところ昆虫の他には鳥類・哺乳類・両生類・爬虫類が整理できるようになっています。昆虫関係は九大の日本昆虫総目録をコード化しており、採集データを入力すれば学名を付けて分類順にリストが作成できます。また、兵庫県と淡路島の地図に分布を出力することもできます。

最近本会会員のパソコンにこのシステムが移植されました。個人的興味の対象をデータ化して整理するシステムが簡単に構築できます。また共通の興味を持つ同士であれば、データを持ちよってさらに大きなデータ・ベースを作成することもできます。

パソコンをお持ちの方で組み版システム **L^AT_EX** または生物データ・ベースに関して興味のある方は連絡ください。

— 草 —

- ☆ このところ堀田 久氏に編集をお願いしておりましたが、今号より組み版は大草氏に協力いただいて、再び小生が編集を行うことになりました。原稿が集まれば年2回発行も可能ですので、どしどしご寄稿下さい。

(TB)

PARNASSIUS No.39

1993 年 9 月 16 日 印刷 1993 年 9 月 21 日 発行

編集者 登日邦明 発行所 淡路昆虫研究会

〒 656-21 兵庫県津名郡津名町大町畑 235

郵便振替 神戸 7-49591

印刷所 れいめい社

〒 656 兵庫県洲本市本町 5 丁目 1-24

